

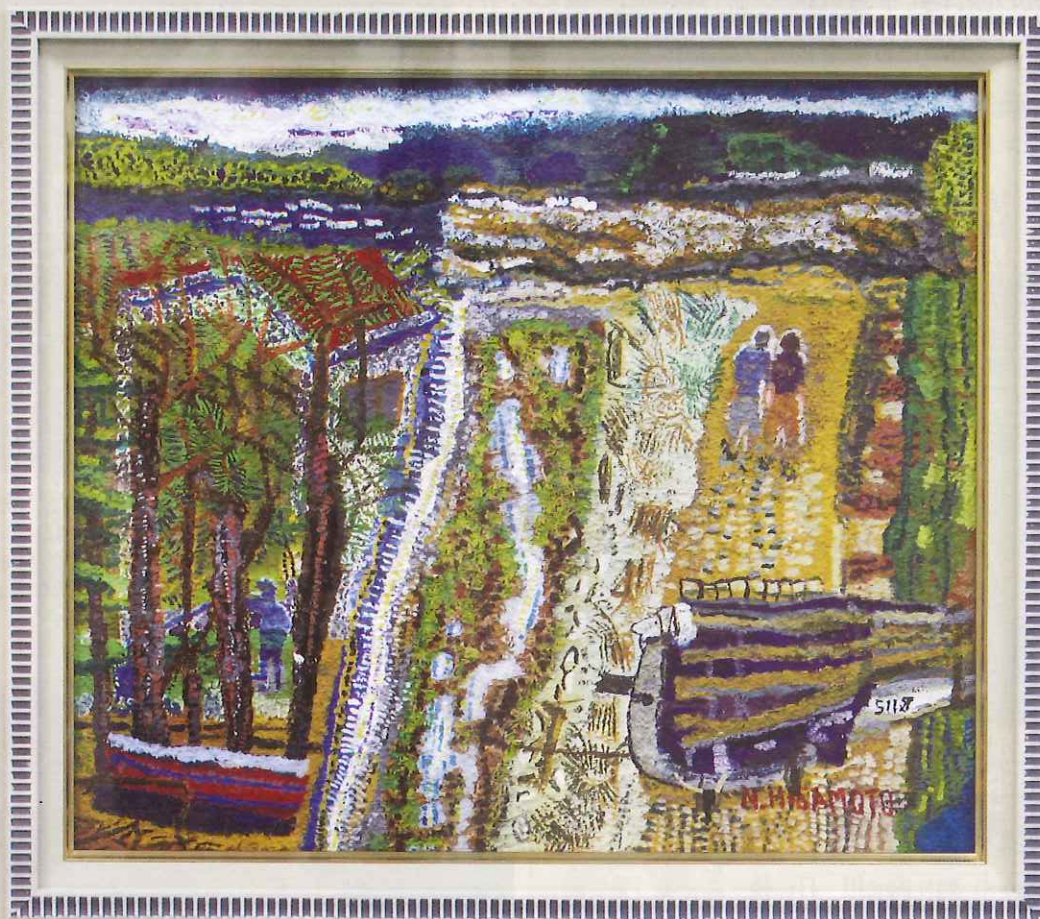
和木ぶんか

WAKI Culture

6.1

June 2015
平成27年

No.46



第2回 和木町絵画美術展覧会 入賞作品
大賞 「故郷の浜辺」久本徳夫さん（岩国市）

インタビュー

「明治維新150年に向けた志」

同志社大学講師 竹本 知行さんに伺う

第2回和木町絵画美術展覧会

展覧会の様子、主な受賞者と作品

和木町文化協会総会

平成26年度事業報告、決算報告、監査報告、役員改選ほか
行事報告

Band Meeting in WAKI vol.18

WAKIコンサート2014

新春書き初め会・展示会

新春舞い初め会

平成27年度 和木町文化協会事業計画

インタビュー

「明治維新150年に向けた志」

同志社大学講師 竹本知行さんに伺う

和木町出身で同志社大学講師の竹本知行さんが「幕末・維新の西洋兵学と近代軍制」を出版されました。これを機に、恩師である重岡良典教育長、同級生の中原良充さんを交えてお話を伺いました。



小さい頃はどんな子どもさんでしたか？

祖父の影響もあって、小さい頃から歴史が好きでした。故末岡美胤氏の講演会に行くような子どもでした。同級生がヒーロー物などのテレビ番組を見ている中、シルクロードとかを見ているようなちよつと変な子どもでしたね。

（重岡先生）体育は苦手でしたね。

あの頃は社会よりも算数が好きだった気がします。

（中原さん）真面目そうだけど結構お調子者で、黒板に女性の先生の似顔絵を面白おかしく書いて泣かせたこともあったね。

和木町の思い出を教えてください。

友人たちと前山に登って、基地を作ったりしていました。花火大会や盆踊りもいい思い出です。大和橋のたもとの本屋さんによく行きましたが、そこのおばあちゃんには怖かったな。そういうえば、あの頃はよその子供でも叱ってくれる大人が多かったですね。

小学生の時はちょうど和木町の図書館が綺麗になった頃で、よく通っていました。

政治学を志すきっかけは何ですか？



▲竹本知行さん（手前左）、同級生の中原良充さん（中）
重岡良典教育長（右）

大学は経済学部で、開発経済で東南アジアの開発戦略を研究するゼミに入っていました。たまたま法学部の授業を聴講した時に出会った先生が、後に私の師匠になるのですが、「日本政治思想史」という授業を担当していらつしゃって、その内容の面白さに圧倒されてもっと勉強したいと思つたわけです。

日本政治史というのは政治権力を中心として見た近代史研究です。幕末という時代は近代の出発点として位置づけられ、研究対象とし

て大変興味深いものです。もともと歴史が好きだったところに、火がついてしまいそこから抜けられなくなつて今に至っています。

明治新政府の軍制に興味を持ったのは？

政治学を勉強する中で、「今」という時代を知るために何が必要か考えたとき、「今」の現象には理由、原因があり、現代を知るためには近代を理解せねばなりません。それが「今」の現状分析ではそれは薄っぺらい物になるだろうという考えで、勉強してきました。近代において軍隊の存在はとても大きく、軍隊は優秀な管理機構です。高度に組織化されているから、政党が未成熟な社会においても実際に統治ができてしまう存在となったんですね。

いわゆる政軍関係が日本政治史において重要であることから、近代の軍制に注目せざるを得なかったということですね。

大村益次郎に着眼したのは何故ですか？

山縣有朋を研究する中で、彼の業績として「徴兵令」が有名です。

が、それより前に大村益次郎の徴兵構想が存在しており、そのアイディアがどういふところから出てきたのか興味を湧いてきたのです。ところが、そこまで遡ってみると史料がほとんどないという状況にぶち当たってしまいました。多くの史料が散逸しており、それを繋ぎ合せていく作業を誰かがやらなくてはならないのなら自分がやろうと思いました。たぶん今日ではマイナーな大村益次郎を専門として研究しているのは、日本で私くらいしかないと思います。今日は面白いものを持ってきました。

大村益次郎が元治元年に翻訳した兵書

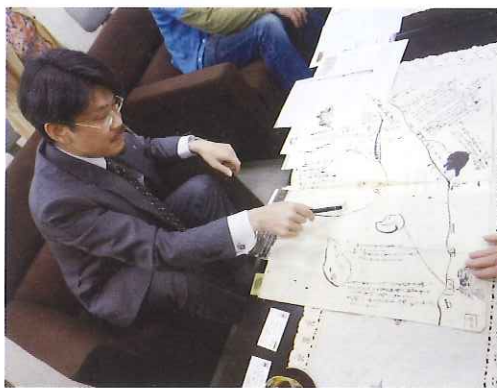


大村 益次郎
文政8年5月3日
- 明治2年11月5日
山口市鑄銭司生まれ
長州藩の兵学者

ナポレオン戦争後の西洋の軍事理論が書かれた兵書で、長州藩はこれをテキストとして採用し、またその内容は第二次幕長戦争の戦略・戦術にも活かされています。

幕末期の和木町について

和木、大竹、小方、玖波、小瀬川などの地名が見られます。



▲第二次幕長戦争戦況図を説明する竹本さん

現在、四境の役封境の地の石碑が建っていますが、そこが第二次幕長戦争における古戦場であることを今に伝えています。長州軍は八幡山と苦の坂の頂上の二手に分かれ砲撃したのですが、長州遊撃隊、岩国藩兵に加え和木からも義勇隊が集結していました。この戦闘でも大村益次郎立案の作戦が採用されています。

寺子屋龍馬というのがあるそうです

NPO法人京都龍馬会が開催し

ている市民勉強会です。月一回幕末史についての講師をしたり、近時新聞という広報誌にも寄稿しています。

ちなみに、龍馬の葬儀を行った京都の霊明神社の現在の神主さんは、山口県萩市のご出身なんですよ。

ドラマ「リーダーズ」に資料提供とありますが…

映画「隠し剣鬼の爪」で時代考証の助手として入った時に松竹の人と仲良くなり、その後日本ベトナム国交40周年記念ドラマのシーンについて指導して欲しいと要請があり、作品全体の時代考証を引き受けることになりました。同じ製作者から、「リーダーズ」を撮る時に依頼を受けて資料提供をしたり、指導をしたということです。

今年の夏放映の、戦後70年のスベシャルドラマの時代考証も手伝っています。

忙しい中恐縮ですが、和木町でもいろいろなお話を聞かせていただけませんか

生まれ育った和木町に恩返ししたいので、そういう機会があれば喜んで協力します。

(インタビューを終えて)

色々な歴史のあれこれをわかりやすくお話していただいて、予定していた時間を大幅にオーバーしたのにも気づかないほどでした。重岡先生や中原さんからも楽しいエピソードをお聞きして、学者であり研究者という当初抱いていた近寄りがたいイメージがいい意味で覆されました。まだどういう形になるかわかりませんが、竹本先生には是非和木町でもお話いただく企画を考えていきたいと思っています。



幕末・維新の西洋兵学と近代軍制

大村益次郎とその継承者



竹本知行
著

松久洋行出版

— 竹本知行さん著書 —
『幕末・維新の西洋兵学と近代軍制』
(2014年12月)

第2回 和木町絵画美術展覧会

主催 / 和木町文化協会 後援 / 和木町・和木町教育委員会



【大賞】久本 徳夫さん



副賞の陶器

昨年に続き「第2回和木町絵画美術展覧会」が3月15日～29日まで、和木

美術館で開催されました。近郊市町村以外にも遠くは呉や福岡から、一般、高校生合わせて191点の応募がありました。

その中から、大賞・優秀賞・奨励賞・秀作・佳作 29点が、審査をお願いした秋山泉・吉井章両氏により決定しました。

「どの作品も作者の生きた証になっている。すべての作品の画面は『生命の動き』が真摯な態度で画面に定着され好感を持つことがで

き、見応えのあるものになっている。昨年よりレベルが上がったように思う。」と秋山氏から審査講評を頂きました。

展覧会初日は、表彰式ならびにギャラリートークを開催し、多くの来場者で賑わいました。入賞者には賞状と、副賞として宮本健吾氏（錦心窯）作製の陶器が贈呈されました。ギャラリートークでは、作品の講評を聞こうと、審査員の周りには熱心な出品者の人山ができました。

出品規格サイズが10号以下というこの展覧会は、初心者の方には初めての発表の場として、経験者の方には飛躍の場として、広く多くの人々から作品を公募審査、展示をして芸術文化の振興と向上を目指すもので、和木町制施行40周年行事のひとつとして昨年第1回が開催されました。

出品された皆様には来年に向けての一層のご精進を期待すると共に、ご観覧いただいた皆様には心の潤いと豊かさを得る機会となれば幸いです。



【優秀賞】中谷 孝史さん



【奨励賞】前田 珠紀さん



【奨励賞】川寄 哲郎さん

第1回和木町絵画美術展覧会 入賞作品

【大賞】「故郷の浜辺」 久本 徳夫さん（岩国市）表紙写真

【優秀賞】



「はるか」
平生町 中谷 孝史さん

【奨励賞】



「MICHIKO」
廿日市市 前田 珠紀さん

【奨励賞】



「夏」
岩国市 川寄 哲郎さん

高校生特別賞

【優秀賞】



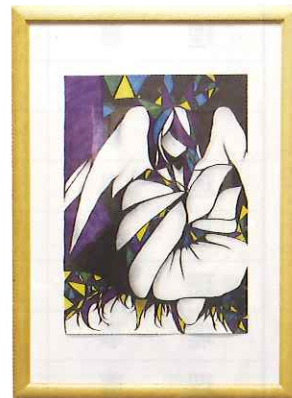
「モモンガ」
岩国高校坂上分校
中務 智絵さん

【大賞】



「オレ城のすみか」
岩国高校坂上分校 玉林 淳志さん

【優秀賞】



「秘められし葛藤」
岩国工業高校
中野 布夕香さん

【奨励賞】



「♡（ハート）を探せ！！」
岩国高校 奥田 美佑さん

【奨励賞】



「極彩色の雨」
岩国高校 橋本 裕里さん

文化協会総会開催

平成27年4月16日、コミュニティセンターにおいて

平成27年度文化協会総会が開催されました。

平成26年度事業報告、決算報告、監査報告に続き、
役員改選、平成27年度事業計画、収支予算について審議され
いずれも賛成多数により承認されました。

新年度役員

役職名	氏名
会 長	海 井 朗 弘
副 会 長	島 崎 こ ず え
副 会 長	湯 浅 正 行
監 事	元 浄 公 昭
外部監事	平 岡 正 信
理 事	秋 本 圭 子
理 事	嘉 屋 信 明
理 事	崎 本 み どり
理 事	繁 原 節 子
理 事	空 静 子
理 事	中 野 さ つ き
理 事	正 木 友 美
理 事	松 本 愛 子
理 事	村 中 正 紀
理 事	★ 森 脇 由 紀
理 事	安 田 左 知 子
理 事	米 元 恭 子



事 務 局	★ 永 井 博
	上 岡 須 磨 子

(★ 新任)



このたび、文化協会事務局長に任命されました永井です。

「緑の風薫る文化のまち和木町」を担う、文化協会の皆さんのお手伝いができることをうれしく思います。

身にあまる重責ではありますが、皆さんのご期待に沿えるよう専心努力いたす所存です。

つきましては、前任者同様に皆さんからご指導ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。



文化協会会員として、バイオリン演奏・指導に携わっております。和木町の立派な施設や環境を有効活用し、文化・アートが、みなさまにとって、より身近に感じられるよう貢献します。どうぞよろしくお願いいたします。

「はっち弦楽合奏団」 森脇 由紀

26年度 後期 行事報告

12/6

土

『Band Meeting in WAKI vol.18』

和木町文化会館



地元で活動しているバンドが出演し、熱い演奏を披露。子どもたちとの共演も果たしました。各バンドからの抽選会で大盛り上がり。

12/13

土

『WAKIコンサート2014』

和木町文化会館



恒例となったWAKIコンサート。ピアノ・ゴスペル・ヴァイオリンと、今年も多く参加者が、ステージで練習の成果を披露しました。



1/10

土

『新春書き初め会』

和木中学校体育館



新春書き初め大会では町内の小中学生が筆をふるい、大竹高校書道部による書道パフォーマンスも披露されました。

1/16

1/19

『新春書初め会展示会』

和木美術館



期間中、新春書き初め会の作品と和木小学校児童の冬休み課題作品が展示されました。

2/8

日

『新春舞い初め会』

和木町文化会館



新春舞い初め会で、艶やかな日本舞踊を堪能し、春の訪れを祝いました。

平成27年度 事業計画

6月5日(金)～9日(火)	第17回和木美術クラブ絵画作品展	美術館
6月7日(日)	かおり会「民謡の祭典」	コミュニティセンター
6月14日(日)	赤とんぼ 15 周年記念発表会	文化会館
7月19日(日)	第31回カラオケ同好会発表会	文化会館
7月26日(日)	第5回キッズ芸能祭	文化会館
9月下旬	ふれ愛コンサート	文化会館
10月15日(木)～11月15日(日)	文化祭展示会	美術館
11月8日(日)	文化祭芸能祭	文化会館
12月	Band Meeting in WAKI vol.19	文化会館
12月	WAKI コンサート 2015	文化会館
1月上旬	新春書初め会	和木中学校体育館
1月下旬	新春書初め会 展示会	美術館
2月7日(日)	新春舞い初め会	文化会館
2月	太鼓まつり	美術館
3月	第3回和木町絵画美術作品展	文化会館
日時未定	横山雄二&世良洋子講演会	
日時未定	自主上映会	
日時未定	磯村靖幸コンサート&絵画作品展	

第5回キッズ芸能祭 参加者募集

日 時 平成27年7月26日(日)

14時～

場 所 和木町文化会館

応募資格 中学生以下

申し込み 平成27年6月8日

ジャンルは洋楽・器楽・声楽
ジャズダンス・バレエ等

演奏時間:5分程度



第3回 和木町絵画美術展覧会 作品募集

展示期間 平成28年
3月13日(日)
～3月28日(日)

表彰式 3月13日(日)
会 場 和木町和木美術館

出品資格 一般(高校生以上)

出品料 1点につき1,000円
(高校生無料)

【作品企画】 絵画10号以下
(53.0cm×53.0cm)
油彩、水彩、パステル、
アクリル等

◎搬入:平成28年3月 5日(土)

◎搬出:平成28年3月28日(日)

※直接、和木美術館に搬入搬出
できる方に限ります。

〒740-0061 山口県玖珂郡和木町和木2丁目15番1号 和木町総合コミュニティセンター内 文化協会事務局あて
TEL(0827)52-2191(※8:30～17:15まで) FAX(0827)52-5200